

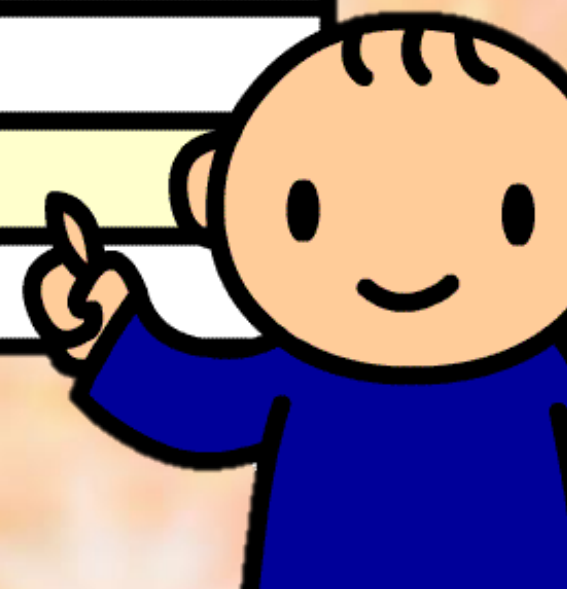
事例から学ぶ！！

**“できる”を引き出す・広げる支援**  
**～その子に適した構造化を使って～**

今回のテーマは・・・

**スケジュール**  
について

● 月 ● 日 (●)	
1	● ● ●
2	● ●
3	● ● ● ●
4	● ●
5	● ●



# 事例1 スケジュールを勝手に変えてしまう



ママ



自分用のスケジュールから  
嫌なものを外したり,  
好きなものを勝手に付けたりします…



# チェックポイント

- ①本人はそのスケジュールを理解していますか？
- ②活動への見通しは持っていますか？
- ③本人はそのスケジュールをどのように使っていますか？

アセスメント  
してみましょう！



- ①本人はスケジュールを「やる順番が示されるもの」というよりは、「好きなものを選ぶもの」と理解していそう
- ②活動への見通しは持てている
- ③本人はスケジュールをコミュニケーションツールのように使っている



**アセスメントの  
結果から  
考えられること！**



諏訪

# スケジュールカードとコミュニケーションカードを混同している可能性が高い

- ・本人にとってスケジュールは「好きなものを選ぶもの」となっており、本来のスケジュールの機能(次の活動を知るもの)としては理解していない。  
→次に何をするのかが伝わりやすい形態に変更する
- ・スケジュールに提示する活動は子ども達が嫌なものもある。活動の全てを好きになる必要はない。
- ・「何をするのか分かって(渋々だけど)取り組む」のと、「何をするのか分からず、強引にさせられる」のとは大きく違う





# 「Aくんが次に何をするのか分かる」スケジュールへ ～形態の再構造化を考えよう！！～

<例>

- ・写真カードではなく、絵カード、具体物で示す
- ・具体物にカードを貼ったものを手渡しする
- ・提示する個数を減らす(次の活動のみを提示)
- ・違うことを言ってきた時には、そのことは受け止めながらも、「今はこれをするよ。」と(活動を)伝え続ける



「スケジュール」はこちらが伝えることを  
理解するための視覚的手掛かり  
PECSは自分を表現するためのカード  
コミュニケーション機能の  
違いを整理しよう！





皆さんいかがでしたか？  
スケジュールの使い方について、  
個々の子ども達に適しているのか、  
改めて見直してみてもいいでしょうか？！  
新たな発見があるかもしれません！！

次回は「タイマーを用いたスケジュール」  
について、お伝えいたします！！  
お楽しみに♪